

灌漑水管理能力向上プロジェクト ニュースレター

Vol.2 | 2020 年 4 月

各月の主な活動実績

- 10 月 ベースライン調査報告書作成
- 11 月 第 2 回合同調整委員会の開催、第 3 回
タスクフォース会議の開催、「日本の参加
型水管理モデルとルワンダの灌漑水管理
移管」をテーマとするセミナー開催
- 12 月 本邦研修の計画策定、ンゴマ郡モデル地
区における IWUO 再構築に向けたリスト・
マップ整理、カスケード式の研修実施体制
の見直し
- 1 月 本邦研修、第三国研修の実施準備
- 2 月 第 4 回タスクフォース会議の開催、モデル
地区の IWUO 及び農協代表者を対象と
したプレ研修及び評価・モニタリング実施、
ンゴマ郡における IWUO 再構築支援

プロジェクト内容

当プロジェクトは、東部県のルワマガナ郡、ンゴマ郡ならびに南部県のギサガラ郡を対象地域とし、「モデル地区において灌漑水利組合（IWUO）によるスキーム管理能力が向上する」ことを目標にしています。

以下の 5 つの成果を実現することを通じて、IWUO が主体となった灌漑スキームの持続的な運営に向けた好循環を創出し、プロジェクト目標の達成を目指します。

- 1 灌漑管理移管の実施手順、IWUO の支援体制（役割分担を含む）・支援内容及びモニタリング手法を明確化する
- 2 モデル地区における IWUO の組織強化が図られる
- 3 モデル地区における維持管理が適正に行われる
- 4 モデル地区における水管理が適正に行われる
- 5 モデル地区における営農活動が促進される



灌漑水利組合や行政機関の灌漑水管理による
営農活動の促進を目指して



これまでの主な活動

合同調整委員会の開催

11月15日に、合同調整委員会の第2回会議を開催しました。プロジェクトチームからは、ベースライン調査の結果から抽出された重点課題や改善点を報告し、改善計画/研修実施計画の基本方針について説明を行いました。研修内容および実施体制については、タスクフォースを中心に研修マニュアルを作成していくことについて確認しました。

また、当プロジェクトの活動を、農業局（RAB）や郡の行政目標に取り込むことに合意しました。さらに、マスメディアによるIWUOの活動の広報を行うことも確認しました。

改善計画/研修実施計画の作成支援ならびに研修教材（マニュアル骨子）の準備

プロジェクトチームは、2019年5月から7月にかけて実施したベースライン調査の結果から、重点課題や改善点を抽出しました。

12月には、第3回タスクフォース会議を開催し、対象郡ごとに研修項目案および研修体制案をグループワークにて協議した上で、今後はタスクフォースを中心に研修マニュアルを作成していくことを確認しました。

そして、2020年2月に第4回タスクフォース会議を開催し、改善計画/研修実施計画に基づいて教材テーマを設定し、成果ごとに研修教材（マニュアル骨子）を準備しました。

プレ研修の実施とIWUO再構築支援

第2期での本格的な研修活動の開始に先立ち、現地協力者（Field Collaborator）を中心とする実施体制を試行するため、2月10から12日にルワマガナ、ンゴマ、ギサガラ郡において、IWUOや農協の職員を対象に、成果5の営農分野のプレ研修と評価・モニタリングを実施しました。

ンゴマ郡のモデル地区では、ボトムアップ方式のIWUO組織体制を以下の手順で構築しました。

1. 分水施設ごとの灌漑ユニット
 2. 堰または二次水路ごとの水利用者チーム
 3. 堰グループまたは幹線水路ごとのゾーン
 4. スキーム管理委員会
- 今後、この手法をモデル化する方針です。

プロジェクトの実施体制

プロジェクト・ダイレクター：RAB 総局長
副プロジェクト・ダイレクター：RAB 副総局長
プロジェクト・マネージャー：土地管理灌漑研究技術移転局（LIR&TT）局長

カウンターパート
（チーフ・インプリメンター：IWUO 支援ユニット長）

プロジェクトチーム
（JICA 専門家、地元専門家）